

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期） 取組結果

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期）の概要

- (1) 計画期間
平成29年度から令和4年度（6年間）
- (2) 温室効果ガス総排出量削減目標
令和4年度までに基準年度（平成27年度）から10.0%削減
- (3) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - イ 省エネルギーな設備の導入
 - ウ 庁舎・市民交流施設の省エネルギー化
 - エ ごみの減量化、資源化の向上

2 計画の取組結果

- (1) 令和4年度における温室効果ガス排出量は基準年度比で7.1%減
- (2) 最新の排出係数で算定すると、令和4年度における温室効果ガス排出量は7,281.1 t-CO₂（基準年度比で34.7%減）

■ 計画期間の燃料使用料等

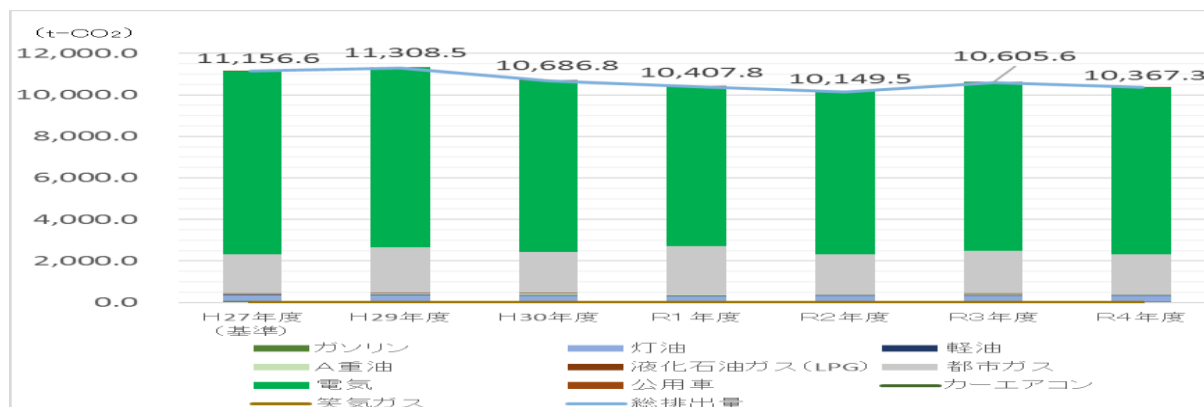
項目	単位	H27	H29	H30	R1	R2	R3	R4
		基準年度	実績	実績	実績	実績	実績	実績
ガソリン	kL	34.0	32.0	30.5	28.9	22.1	22.3	22.4
灯油	kL	106.6	114.5	107.5	95.7	110.8	115.8	107.1
軽油	kL	11.3	10.4	11.2	10.9	7.2	7.8	9.5
A重油	kL	18.2	18.0	30.6	14.8	9.6	21.6	11.3
LPG	t	6.0	6.7	6.5	7.4	5.1	5.2	6.7
都市ガス	千m ³	838.7	985.5	880.7	1,037.6	871.3	915.8	866.9
電気	千kWh	17,060.6	16,802.5	15,995.1	14,942.1	15,145.5	15,788.8	15,545.8
公用車走行量	千km	471.9	462.2	461.5	437.7	327.6	333.3	358.1
カーエアコン	台	80.0	76.0	79.0	80.0	83.0	78.0	76.0
笑気ガス	kg	34.0	4.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0

■ 温室効果ガス排出状況（単位：t-CO₂）

項目	H27	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	基準年度	実績	実績	実績	実績	実績	実績	目標
ガソリン	78.9	74.2	70.8	67.0	51.4	51.8	52.0	71.0
灯油	265.4	285.1	267.8	238.3	275.9	288.3	266.7	238.8
軽油	29.1	26.7	28.8	28.1	18.5	20.1	24.6	26.2
A重油	49.2	48.8	82.8	40.2	26.0	58.4	30.6	44.3
LPG	17.9	20.0	19.4	22.3	15.4	15.5	20.0	16.1
都市ガス	1,870.3	2,197.6	1,964.0	2,313.7	1,943.0	2,042.2	1,933.2	1,683.3
電気	8,831.1	8,650.4	8,247.8	7,693.3	7,815.2	8,125.2	8,035.8	7,948.0

公用車走行量	3.5	3.4	3.4	3.2	2.3	2.3	2.5	3.1
カーエアコン	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.0
笑気ガス	10.1	1.2	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	9.1
総排出量	11,156.7	11,308.5	10,686.8	10,407.8	10,149.5	10,605.5	10,367.3	10,040.9
平成27年度比	—	1.4%	-4.2%	-6.7%	-9.0%	-4.9%	-7.1%	-10.0%

※ 数値は四捨五入しているため、合計値が合わない場合があります。



■ 計画期間内の温室効果ガス排出量増減の主な理由

項目	理由
ガソリン	・ 公用車の走行距離の減による減少 (H29～)
灯油	・ ヒーター等の設備機器新規導入による増加 (R3)
軽油	・ バスの稼働率の減による減少 (R2)
A重油	・ 西脇病院の重油入れ替えによる増加 (R3)
LPG	・ 日時計の丘公園やコミュニティセンターの利用者減による減少 (R2)
都市ガス	・ コージェネレーションシステム導入による増加 (R1)
電気	・ 幼稚園、上下水道施設等の廃止による減少 (H29～R1、R4)

3 重点取組に関する取組結果

別紙参照

4 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期）を振り返って

- ・ 計画の最終年度である令和4年度の結果は、基準年度比で7.1%の減少となっており、目標である10.0%削減の達成には至りませんでした。来年度以降は、新たな西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第5期）に基づき、引き続き温室効果ガス排出量削減に取り組んでまいります。
- ・ 単年度で見ると、令和2年度までは温室効果ガス排出量が年々減少しています。令和3年度では、温室効果ガス排出量が増加しましたが、新型コロナウイルスの影響緩和によるエネルギー使用量の増加が原因であると考えられます。
- ・ 「計画期間内の温室効果ガス排出量増減の主な理由」から、温室効果ガス排出量削減には、ハード面の取組が効果的であることが分かります。